



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 アイサンテクノロジー株式会社
コード番号 4667 URL <http://www.aisantec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳澤 哲二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統括本部長

(氏名) 加藤 淳

TEL 052-950-7500

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,551	△10.3	58	△38.3	57	△36.8	23	△65.2
27年3月期第3四半期	1,729	25.8	94	△3.4	91	△3.4	68	△18.8

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 28百万円 (△60.4%) 27年3月期第3四半期 71百万円 (△14.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	5.20	—
27年3月期第3四半期	14.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,488	1,534	61.4
27年3月期	2,986	1,543	51.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,527百万円 27年3月期 1,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,000	6.2	285	1.1	280	0.2	185	△16.3	40.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	4,699,600 株	27年3月期	4,699,600 株
28年3月期3Q	92,579 株	27年3月期	92,579 株
28年3月期3Q	4,607,021 株	27年3月期3Q	4,607,023 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びそのご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、新興国経済の減速と、原油価格の下落傾向が見られる一方、個人消費は緩やかなペースで回復基調にあり、一進一退の動きが続いております。

当社グループの主力市場であります測量市場におきましては、当事業年度開始直後に実施された統一地方選挙の影響もあり、自治体が実施する公共事業の予算執行が停滞し、その結果、測量業界での公共事業請負金額が前年を下回る影響もあり、設備投資意欲も一進一退の状況となっております。しかしながら、第1四半期末頃から徐々に、最新の計測機器を中心としたソリューションへの投資回復傾向の流れが伺える状況となっております。

こうした状況の中で当社グループは、昨年3月にリリースしました主力製品の最新バージョン「Wingneo INFINITY Ver. 5」では、既存図面等成果物の効果的な利活用を可能とする新機能を搭載し、お客様に従来以上の業務効率化への提案活動を実施するとともに、新たな発想と刻々と変化する作業環境を積極的に取り入れたWingneo INFINITYの次期バージョンである「Wingneo INFINITY Ver. 6」の製品開発も同時に進めてまいりました。また、高精度三次元システム(以下、MMS)及び専用ソフトウェアで作成する、高精度三次元地図データベースの利用により実現する自動走行支援を目指した様々な実証実験プロジェクトに引き続き技術協力・技術支援を実施するとともに、当社独自の先行研究開発も進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,551百万円(前年同期比10.3%減)、営業利益は58百万円(前年同期比38.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は23百万円(前年同期比65.2%減)となりました。

セグメント別においては、次の通りであります。

①測地ソリューション事業

測地ソリューション事業におきましては、測量業界における公共事業請負金額が毎年前年を下回る減少傾向にある等、厳しい市場環境の下、当社グループではお客様の業務をトータルでソリューションすることを目的に、主力製品「Wingシリーズ」の最新バージョンである「Wingneo INFINITY Ver. 5」を中心にライカジオシステムズ株式会社の最新計測機器にて現場作業の効率化を提案し、既存図面並びに成果物の利活用を目的とした複合機等周辺機器の新たな提案など、幅広い活動を実施してまいりました。また、測量業務における作業効率支援のための防塵防滴対応ハイブリットデータコレクタ「Pocket シリーズ バージョンⅢ」をカシオ計算機株式会社製の端末と標準セットとして12月より発売開始し、人間中心設計のハードウェアと新たな開発思想のもとに生まれたソフトウェアが合体した「現場最強ツール」として、積極的な営業展開を進めてまいりました。

以上の結果、測地ソリューション事業の売上高は1,117百万円(前年同期比4.3%減)、セグメント利益(営業利益)は216百万円(前年同期比12.6%減)となりました。

②G空間ソリューション事業

G空間ソリューション事業におきましては、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け自動運転技術の実用化と普及を実現させる国の方針が明確になったことに伴い、ITS業界を中心に自動運転に関する研究開発の強化とともにその実現に向けた高精度三次元地図データベースの重要性が再度認識された結果、多方面より研究開発の目的での需要が高まってまいりました。同時に当社では当該分野に関する研究開発や、実証実験等を重点的に実施してまいりました。その研究の成果として、市街地での公道実証実験を実施するワーキンググループ「アーバンドライブWG」の活動の一環として、国立大学法人名古屋大学並びにインクリメント・ピー株式会社との共同で、自動運転実証実験および研究開発向け「高精度3次元ナビゲーションシステム 3Dツインナビ」を開発し、各種展示会等のイベントにおいて参考出品いたしました。また、愛知県幸田町においては、今後普及が期待される自動運転技術を活用した実証実験に必要とされる高精度3次元地図の作製並びに地域住民の自動運転車試乗による社会受容性実証実験を、国立大学法人名古屋大学をはじめとした産学官連携で実施することを発表いたしました。高精度三次元計測機器であるMMS車両販売に関しては、本機器を用いた計測作業により収集されるデータを解析した成果物の有用性を各方面に継続的に提案し、高い評価を得るに至っており、受注も順調に進んでおります。更に、昨年4月に発表しました屋内3D計測に関しても、各方面への提案活動を行ってきた結果、徐々に浸透し、受注実績も上がりつつあります。他方、MMSやUAV(無人飛行機)を利用した高精度三次元地図情報の整備に向けた先行研究開発や最先端計測機器への先行投資も積極的に進めてまいりました。

以上の結果、G空間ソリューション事業の売上高は424百万円(前年同期比21.5%減)、セグメント利益(営業損失)は△13百万円(前年同期は10百万円の営業利益)となりました。

③その他

その他事業の売上高は9百万円(前年同期比55.0%減)、セグメント利益(営業損失)は△1百万円(前年同期は4百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて497百万円減少し、2,488百万円となりました。その主な要因は受取手形及び売掛金が432百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて488百万円減少し、953百万円となりました。その主な要因は支払手形及び買掛金が353百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第3半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8百万円減少し、1,534百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が12百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,084,863	934,785
受取手形及び売掛金	812,226	379,634
商品及び製品	35,830	44,712
仕掛品	67,061	25,570
その他	78,829	109,871
貸倒引当金	△4,233	△2,147
流動資産合計	2,074,577	1,492,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	281,131	280,075
減価償却累計額	△100,992	△102,881
建物及び構築物(純額)	180,139	177,194
土地	341,789	341,789
リース資産	65,645	122,061
減価償却累計額	△29,253	△45,966
リース資産(純額)	36,392	76,095
その他	165,692	196,483
減価償却累計額	△83,097	△113,847
その他(純額)	82,594	82,635
有形固定資産合計	640,916	677,715
無形固定資産		
投資その他の資産	77,971	133,239
投資有価証券	22,391	25,130
その他	170,191	160,973
貸倒引当金	-	△632
投資その他の資産合計	192,582	185,472
固定資産合計	911,470	996,426
資産合計	2,986,048	2,488,854

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	579,545	225,561
短期借入金	-	60,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	48,560	48,560
リース債務	23,095	31,466
前受金	148,138	113,264
未払法人税等	76,914	1,540
賞与引当金	46,758	23,783
その他	142,962	76,422
流動負債合計	1,085,974	600,598
固定負債		
社債	40,000	30,000
リース債務	29,583	58,263
長期借入金	145,760	109,340
退職給付に係る負債	129,581	140,780
繰延税金負債	1,741	2,769
その他	9,981	12,232
固定負債合計	356,647	353,385
負債合計	1,442,621	953,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	520,840	520,840
資本剰余金	559,863	559,863
利益剰余金	467,144	454,224
自己株式	△12,373	△12,373
株主資本合計	1,535,475	1,522,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,689	5,260
その他の包括利益累計額合計	3,689	5,260
非支配株主持分	4,262	7,054
純資産合計	1,543,427	1,534,870
負債純資産合計	2,986,048	2,488,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,729,858	1,551,736
売上原価	886,309	778,777
売上総利益	843,548	772,959
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	243,468	207,383
退職給付費用	11,571	11,015
研究開発費	125,836	143,435
その他	367,907	352,635
販売費及び一般管理費合計	748,784	714,469
営業利益	94,764	58,489
営業外収益		
受取利息	1,225	955
消費税差額	361	420
受取賠償金	-	1,460
その他	900	1,142
営業外収益合計	2,486	3,978
営業外費用		
支払利息	5,413	4,252
その他	482	485
営業外費用合計	5,895	4,737
経常利益	91,355	57,730
特別損失		
固定資産除売却損	-	38
特別損失合計	-	38
税金等調整前四半期純利益	91,355	57,692
法人税、住民税及び事業税	21,900	12,504
法人税等調整額	-	18,459
法人税等合計	21,900	30,964
四半期純利益	69,454	26,728
非支配株主に帰属する四半期純利益	769	2,791
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,685	23,936

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	69,454	26,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,010	1,571
その他の包括利益合計	2,010	1,571
四半期包括利益	71,464	28,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,695	25,507
非支配株主に係る四半期包括利益	769	2,791

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。